

群馬音楽センター

舞台技術ワークショップが開催されました！

- 日時：平成28年2月14日(日) 13:00~15:40
- 参加者：高崎市内高等学校の吹奏楽部のみなさんと顧問の先生
- 講師：群馬音楽センター技術職員
- 参加費：無料

今年も「群馬音楽センター舞台技術ワークショップ」が開催されました。

高崎市内の高校吹奏楽部のみなさんが参加され、演奏会で役立つ照明演出や機材の使い方はもちろん、安全な山台（ひな壇）の作り方と正しいマイクの使い方など、さまざまな舞台技術を体験していただきました。おかげさまで、大盛況のうちに終了しました。

ご参加誠にありがとうございました。



☆山台（ひな壇）が自分たちで組むことができると、定演での転換もスムーズになります。また、安全な使い方も分かります。



☆正しいマイクの使い方も、実は定演では重要なんです。楽器ソロ演奏の効果的な音の拾い方も勉強しました。



☆正面の反射板にも、こんな明かりの演出ができるんです。



☆定演ではこのデジタル調光卓(明かりを調整する機械)を使用します。



☆実際の機材の使い方が分ると、定演での演出のイメージが
つかみやすくなります。



○受講者の声

□舞台について

- 演奏会で使用する山台を素早く作るのに役立ちそうです。
- 山台の組み立て方が分かり、とても勉強になりました。
- 効率よく山台の組立てができそうです。
- 山台の組み方で、安全上注意すべき点があった。
- 山台に使用される台などの名称を知ることができました。

- 普段は見られない反響板の構造が分かったことがよかった。
- 反響板の位置を調整することにより、自分たちの定演に合った舞台の大きさにできることが分かったことが、今後役に立つ。
- 危険なところをしっかりと教えていただいて良かったです。

□照明について

- 照明にたくさんの色や柄があって、操作するのも楽しかったです。
- いろいろな機材を試すことができ、特に、ピンスポットライトも使えて楽しかったです。
- さまざまな工夫を凝らした照明機材の操作を教えていただくことができ、本当によかったです。
- ピンスポットライト、天井反射板ライトとシーリングライトの効果的な明るさの関係が分かってよかった。
- 実際に機材を操作できたので、定演に向け、照明演出を考えるのによりきっかけとなりました。
- 自分たちで考えた照明演出ができることが確認できました。

□音響について

- マイクの正しい使い方が分かってよかったです。
- 音楽センターだけでなくほかのホールでも、マイクを正しく使えそうです。
- 演奏会のために、使用できるマイクの本数も考慮しなければならなかったことが分かった。

□その他

- いろいろな質問に全体的確に答えていただき、とても役に立つワークショップでした。